

山 口 大 学

独 仏 文 学

第 45 号

ゲルマン語強変化動詞第2種の歴史的変遷(3) …………… 下 崎 正利 (1)

Secrets d'une âme et Une page folle : donner un sens aux rêves – ou non
…………… Michel de BOISSIEU (29)

英語の非接触動詞の外的所有者構文について …………… 武 本 雅嗣 (45)

山口大学独仏文学研究会

2023

山 口 大 学

独 仙 文 学

第 45 号

山口大学独仙文学研究会

2023

山口大学独仏文学研究会会則

- 第1条 本会は山口大学独仏文学研究会と称する。
- 第2条 本会は、正会員、名誉会員および準会員によって構成する。
1. 正会員とは本学の独語学独文学・仏語学仏文学の専任教員で、本会の趣旨に賛同する者をいう。
 2. 名誉会員とは本会の正会員として定年退職した者および転出時に10年以上本会の正会員であった者をいう。
 3. 準会員とは独語学独文学・仏語学仏文学の研究者で、本会の趣旨に賛同し、本会が認めた者をいう。
- 第3条 本会は独語学独文学・仏語学仏文学の発展に寄与することを目的とする。
- 第4条 本会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。
1. 毎年総会および研究会・合評会を行う。
 2. 毎年1回会誌「山口大学独仏文学」を発行する。
- 第5条 本会誌は独語学独文学・仏語学仏文学に関する論文、書評、翻訳、研究ノート・資料、随筆を掲載する。
- 第6条 本会誌の編集には会員の互選による2名の委員があたり、会計も兼ねるものとする。その任期は1年とする。また年度は毎年4月1日より翌年3月31日までとする。
- 第7条 編集委員の招集する総会では会計報告、次期編集委員選出、次期本会誌の執筆申し込み期日の決定等を行うものとする。
- 第8条 会員は会費を均等に負担するものとする。ただし、名誉会員および準会員は、本人の論文等が本会誌に掲載された年度のみ会費を均等に負担する。
- 第9条 規約の変更は会員の賛同のもとに総会で行うものとする。
- 附則 この会則は、平成24年度より改正施行する。

(申し合わせ)

1. 原稿執筆枚数を400字詰め原稿用紙100枚までとする。従来のように、本会誌頁数21頁まで（ほぼ50枚）は均等負担とするが、それを超える超過分については自己負担とする。
2. 準会員と成りうるのは、原則として本学の独語学独文学・仏語学仏文学の非常勤講師とする。現在・過去は問わない。
3. 名誉会員および準会員には、編集委員や総会出席等の義務はない。
4. 論文に関しては編集委員が依頼する主査と副査が査読を行い、その審査報告に基づいて編集委員会が採否を決定する。編集委員会は改稿を求めることがある。（令和元年6月7日、メール審議により了承、令和2年2月21日、総会にて修正された事項。）

会 員 名 簿

正会員

ドイツ語学

○下 寄 正 利 (人文学部)

フランス語学・フランス文学

武 本 雅 嗣 (人文学部)

○ミシエル・ド・ボワシュ (人文学部)

名誉会員

ドイツ語学・ドイツ文学

岡 光 一 浩

小 粥 良

フェリツィタス・ドーブラ

中 尾 光 延

フランツ・ヒンターエーダー＝エムデ

本 田 義 昭

松 尾 誠 之

米 澤 充

フランス語学・フランス文学

末 松 壽

平 山 豊

準会員

フランス語学・フランス文学

ジャン＝クロード・ボシィール

五十音順による。○は編集委員。

編集後記

昨年度末、ヒンターエーダー＝エムデ先生が定年退職なさり、山口大学独仏文学研究会の正会員は3名となりました。随分と少なくなってしまったものです。それでも何とか、『山口大学独仏文学』は続いています。今年度は、正会員がそれぞれ1本ずつ論文を書き、計3本の掲載です。

山口大学独仏文学研究会には、正会員の他、名誉会員や準会員の方々がいらっしゃいますが、令和5年9月、名誉会員の渡辺信夫先生が永眠されました。渡辺先生は、『山口大学独仏文学』創刊時のメンバーで、数々の翻訳や論文を投稿なさっており、連載なさっていた「『ファウスト』脚注の試み」は、後に1冊の研究書としてまとめられ、出版されています。渡辺先生のご冥福をお祈りいたします。

『山口大学独仏文学』は、本号で第45号です。創刊以来45年、その間に、私達ドイツ語学・文学研究者、フランス語学・文学研究者を取り巻く環境は、様変わりしました。『山口大学独仏文学』をわずかな人数で支えていくのは、正直なところ大変です。しかしながら、研究成果の発表の場としての重要性は、かつてないほど高まっていると思います。来年度も私たちの研究成果を是非ご覧に入れようとの意気込みでいます。

(文責 下嵯正利)

査読者（敬称略）

黒沢 宏和（近畿大学法学部教授）

下嵯 正利（山口大学独仏文学研究会正会員、山口大学人文学部准教授）

武本 雅嗣（山口大学独仏文学研究会正会員、山口大学人文学部教授）

Jean-Claude Beausir（山口大学独仏文学研究会準会員）

Michel de Boissieu（山口大学独仏文学研究会正会員、山口大学人文学部教授）

Loïc Renoud（岡山大学文学部准教授）

令和5年12月25日

発行者 〒753-8540 山口県山口市吉田1677-1
山口大学人文学部内
独仏文学研究会

印刷所 〒759-0204 山口県宇部市妻崎開作1953-8
有限会社 三共印刷

YAMAGUCHI DAIGAKU
DOKUFUTSU BUNGAKE

No. 45 (2023)

INHALT – TABLE DES MATIÈRES

- Der historische Wandel der 2. Klasse der germanischen starken Verben (3)
..... Masatoshi SHIMOZAKI (1)
- Secrets d'une âme et Une page folle* : donner un sens aux rêves – ou non
..... Michel de BOISSIEU (29)
- Sur la construction à possesseur externe des verbes de non-contact en anglais
..... Masashi TAKEMOTO (45)

YAMAGUCHI DAIGAKU
DOKUFUTSU BUNGAKE KENKYUKAI

ISSN 0387 – 6918